

Lions

年報 No.18 2007.6



2006. 第24回蒲郡まつり納涼花火大会 L尾崎保久 撮影

スローガン

感謝と思いやり 育てよう誇り 広げよう喜び



ライオンズクラブ国際協会 334-A地区2R・2Z
蒲郡マリンライオンズクラブ

目次

スローガン・モットー・ライオンズの誓い	1
役員のリ顧と抱負	2～5
アクティビティ一覧	6～7
特筆すべきアクティビティ	8～12
特別活動報告	13～15
例会活動報告	16～27
趣味部会活動報告	28～29
新入会員紹介・退会会員・一ヶ年皆出席者・一ヶ年準皆出席者	30～31
役員・委員会組織	32～33
編集後記	34



第53回地区年次大会
2007.5.12(土)
於 名古屋国際会議場

国際平和ポスター・コンテスト協力賞

スローガン

Liberty, Intelligence, Our Nations Safety

(自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる)

モットー

We Serve

(われわれは奉仕する)

2006～2007 スローガン

334 複合地区

未来につなげる いのちとひかり

334-A 地区

大きな夢 確かな実行

蒲郡マリンライオンズクラブ

感謝と思いやり 育てよう誇り 広げよう喜び

ライオンズの誓い

われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、
平和と自由を守り、社会奉仕に精進する。

役員の内顧と抱負



会 長
L 鈴木 孟

「ありがとうございました」

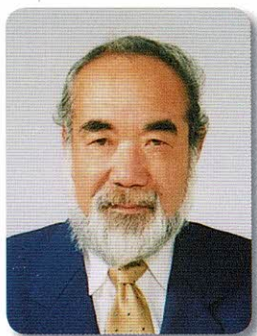
皆さんの御協力を得て、クラブ会長の大役を無事に終わろうとしています。クラブ皆さんには無論のこと、関係した多くの方々にこの紙面をお借りして、心よりお礼申し上げます。

今年度一年、『感謝と思いやり 育てよう誇り 広げよう喜び』というスローガンの下、共にやってまいりました。ライオンズクラブのスローガンというより、一般の人や子供たちにも、そう生きて欲しいといったものでした。

人間が二本足で歩き始め、弱肉強食の動物の世界から、人間へと進化して以来、戦争や犯罪という間違いを犯しながら、また個人としての我欲を捨てきれないままに、人間同士仲良く幸せに生きてゆこうという思いは、ずっと続いていたのだろうと信じます。人間は赤子で何一つ自分では出来ない頃は、両親始め沢山の大人たちに育てられ、大人になってからも、衣食住の何一つとってみても、他人の助けなしには得ることは出来ません。一人では弱い人間が、みんなの力で強く生きてゆけます。そのことへの感謝の気持ちで、他人への思いやりを生んでくれます。自分が皆から大切に思われ、自分も周囲の人を大切に思う。間違いを犯すかもしれないけれど、皆と喜びを分かち合える生き方を求めている、という誇りは大切だと考えています。自分に誇りが持てず破れかぶれになった時、犯罪がまっています。競争するだけでなく、人間関係を大切に生きること、これこそが太古からの人間の悲願だったと思います。

この一年、私達もクラブ内の人間関係から始まって、市民の皆さんに小さな喜びを分かち合えることができたと思っています。この年報に掲載された数々の行事を、皆さんと共に出来たことを誇りに思い、感謝しています。ありがとうございました。

役員のリ顧と抱負



「無事に幹事を終えて」

幹 事

L 尾 崎 保 久

早いもので幹事を仰せつかり、この大役をどのようにと思ひ悩んでおりましたが、早や一年が経ち無事に幹事を務めさせて頂いたこと、心底安堵しております。

例会、親睦旅行、六施設運動会、飯田赤石LCとあさり採り、蒲郡ライオンズクラブ45周年大会等々のアクティビティは、とても楽しく又貴重な体験をさせて頂きました。

それもこれもL鈴木会長はじめ会員皆様1人1人の協力とお導きがあつてのこと、これからも一会員としてライオンズクラブの名に恥じないよう奉仕活動等に努めたいと思います。一年間本当にありがとうございました。



「感 謝」

会 計

L 飛 田 芳 邦

一年はあっという間に過ぎ、クラブの会計と言う役もまもなく終わろうとしています。私はクラブのお金を預かる会計として「果たしてお役にたてたのかなあー！」と自身に問いかけています。

会長L鈴木孟、幹事L尾崎保久そして私飛田芳邦。この三人はお酒が好きで、毎年行われる[放談部会の親睦旅行]では、二次会も終わりもう寝ればよいものを、「ライオンズとは何なんだ！ライオンズとはこれなんだ！」とか酔った勢いで、訳の分からん話をやりあった仲なので、今年も定例理事会の後にはいつも三人で楽しい時間を過ごさせて頂きました、誠に会長・幹事には感謝を致しております。

マリンライオンズの事務局は信頼できる方々で運用されておりますことを幹事の時も思いましたが、会計として改めて確認をさせて頂きました。

今後も事務局のお二人には長くライオンズにお勤めを頂きたく思っております。

役員の内覧と抱負



「ごあいさつ」

次期会長

L 大 隅 英太郎

桜の花も散り新緑の季節となりました。当クラブも来年は20年の成人式をむかえることとなります。この橋渡しの大事な時に、会長をお受けすることになり責任の重さをひしひしと感じております。経済もバブル景気を越えるとの予報もありますが、地域格差特に当蒲郡では景気は低迷している状態です。環境問題でも異常気象、自然破壊等私たちをとりまく環境はめまぐるしい変化をみせています。メルビン・ジョーンズは奉仕について「他人に尽くすことから始めるのでなければ人生の大は成し遂げれない」といっています。私は感謝と思いやりを持ち明るく楽しいクラブ作りをめざして友情と奉仕の和を拓けていきたいと思っています。互いに手を取り合って奉仕活動を行って行くではありませんか。会員の皆様のご協力、ご指導をお願い申し上げまして所信の一端とさせていただきます。



「次年度幹事就任にあたり」

次期幹事

L 浅 井 友 行

蒲郡マリンライオンズクラブに入会させて頂き、10年がたちました。最初のころは何もわからず、ただ皆についていただけでした。それから、いろいろな委員長の役を受け活動するようになって、クラブの良さ、楽しみがわかってきたように思います。10年の節目に幹事という大変な役目をお受けすることになり戸惑っていますが、やらせて頂く限りは大先輩の大隈次期会長の下で、楽しく実りのある年度にすべく頑張ります。その為にも、メンバーお一人お一人の力を結集して、様々なアクティビティを成功させることが大切だと思います。皆様方のご理解ご協力、そしてアドバイスを賜わりたくお願い申し上げます。

役員の内顧と抱負



「次年度第1副会長として」

次期第1副会長

L 竹内 康彦

昨年度、L味岡（当時：指名委員長）より第2副会長に、との要請を断りきれず引受け、私自身クラブ3役経験もなし、勉強しなければと思いつつ、相変わらずの自己事業中心の1ヶ年が過ぎてしまいました。

今年こそは、理事会、担当委員会等にも出来る限り出席し、皆様と交流をはかりライオンズクラブの意義を知り、又私自身のライオニズムの浸透と高揚をはかる1年としたいと思います。

どうぞ会員の皆様には親しく、お声を掛けていただき、ご指導をよろしくお願い申し上げます。



「第2副会長の指名を受けて」

次期第2副会長

L 小田 洋嗣

この度、指名委員長、会長、第一副会長より、第二副会長の指名依頼があり、まさに青天の霹靂であった。

ライオン歴も浅く、高齢、健康等々を考え固辞致しましたが全員の総意との事でありお引き受けさせていただきました。

20年と云う伝統あるクラブ運営には不安がありますが、会長第一副会長共々連携しながら我々のモットーである“*We Serve*”を合言葉に地域社会に少しでも貢献したいと思います。会員の皆様よろしくご指導下さるようお願い申し上げます。